

1

【資料を読み取る力（内容把握）】

問い一 中山さんは、工場の西村さんの話を聞いて、〈取材メモ〉を書きました。〈取材メモ〉
エの（ ）には、どんな言葉が入りますか。次の の中からえらんで〈取
材メモ〉エの（ ）の中に A 〽 D の記号を書きましょう。

（	C	）
①		

正答 ※ C を選んでいれば正答。

誤答 ※ C 以外を選んでいる。

無答 ※ 記述がない。

問い二 中山さんは、〈取材メモ〉をもとに、《組み立て表》を作り、「商品を作るときに気を
けていること」について紹介する文章を書きました。これらを読んであとの（一）〽（三）
の問題に答えましょう。

【資料を読み取る力（メモと文章との対応）】

（一）【組み立て表】の「なか」と「おわり」に使われたメモの記号を、〈取材メモ〉の ア 〽 エ
からえらんで、《組み立て表》の に書きましょう。

ア	エ	イ
②	③	④

正答 ※ 正しく記号を書いている。

誤答 ※ 別の記号を書いている。

無答 ※ 記述がない。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】

（二）中山さんは、〈取材メモ〉を一まい、使いませんでした。使わなかったメモの記号とそ
の理由を考えて書きましょう。

メモの記号 使わなかった理由

ウ

工場に機械がたくさんあることは、商品を作るときに気をつけること に関係がないから。
--

⑤

「メモの記号」と「使わなかった理由」両方できて正答。

正答

※記号ウを正しく選択し、「商品（せんべい）を作るときに気をつけること」という話題の中心から外れたメモであるという趣旨の理由が記述されている。

※他の正答例

「気をつけることとは違うから。」

「紹介文のテーマと違うから。」

「紹介文のテーマに関係ないから。」など。

誤答

※ウ以外の記号を選択している。

※理由が不十分な誤答例

「機械のことが書かれているから。」

「使わない方がよいから。」

※文末が「から」「ので」等、理由を示す文末になっていない。

無答

※記述がない。

【資料を活用する力】

(三) 【中山さんの紹介文】の②だん落は、〈取材メモ〉とくらべると、もっとくわしく書くことができます。〈取材メモ〉の中からつけたす内容を見つけて、文を書きましよう。

(また、) ローラーやエアシャワーで、(服やぼうしの) ほこりを落とします。

⑥

正答

※「ローラーやエアシャワーを使う」「ほこりを落とす」という内容の記述がある。

※「服やぼうし」という言葉が書いてあっても正答とする。

誤答

※「ローラーやエアシャワーを使う」「ほこりを落とす」のどちらか一方が抜けていたり、取材メモの内容とかけ離れたりしている記述。

無答

※記述がない。

2

問い一 あなたも中山さんの学級の一員になったつもりで、〈取材メモ〉をもとにせんべい工場の紹介文を書きましよう。あなたは、AまたはBのどちらについて紹介文を書きましようか。()の中に○を書きましよう。

どちらの話題でもよいので採点しない。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】

問い二 あなたが問一でえらんだ内容で【紹介文】を書くために、〈取材メモ〉からひつようなメモを三つえらんで《組み立て表》の に〈取材メモ〉の記号を書きましよう。

問い二で、A 「おいしいせんべいをつくるための工夫」を選んだ場合

- | | | |
|-----|-----|-----|
| ② ア | ③ エ | ④ ウ |
|-----|-----|-----|
- ⑦ ※アとエは、順不同。

問い二で、B 「できたてのせんべいをとどけるための工夫」を選んだ場合

- | | | |
|-----|-----|-----|
| ② イ | ③ オ | ④ カ |
|-----|-----|-----|
- ⑦ ※イとオは、順不同。

正答 ※記号を正しく選択している。

誤答 ※別の記号を選択している。

無答 ※記述がない。

この問題が誤答、または無答の場合、(三)【資料を活用して書く力】 ⑩ も誤答とする。

問い三 あなたが作った《組み立て表》をもとにして、せんべい工場の紹介文を書きましょう。

◎ ① の【中山さんの紹介文】をさんこうにして書きましょう。ただし、だん落番号は書きません。

- ・ ~~~~~ 線 (二百十字) をこえるまで書きましょう。
- ・ ひつようなところで行をかえて、四つのだん落で書きましょう。
- ※はじめ↓一だん落 「中」 ↓二だん落 「おわり」 ↓一だん落
- ・ 文の終わりは、「〜です。」「〜ます。」の形で書きましょう。

【時間内に指定された文字数で文章を記述する力】 ⑧

正答 ※制限字数を超えて記述している。(原稿用紙の波線を超えていなければならない。)

誤答 ※常体でも可。迷いが生じないように文体を指定したが、常体でも誤答にしない。

無答 ※制限字数まで達していない。(原稿用紙の波線を超えずに終わる。)

無答 ※記述がない。

◆ 「誤答」「無答」の場合は、最低限の条件を満たしていないので、以降の問題については「無答」として集計する。

【段落を意識して記述する力】 ⑨

正答 ※四段落で記述されており、それぞれの段落で書き出しの一字下げができています。

※内容は問わない。原稿用紙の使い方として四つの段落構成ができていれば正答とする。

誤答

※四段落以外の場合。

※書き出しの一字下げはあっても、その後(第二〜第四段落)の改行がない場合。

※改行はあっても、一字下げがされていない場合。

無答

※段落が全くない。

【資料を活用して書く力】⑩

正答

※第二〜第四段落に、メモの内容と、《組み立て表》の順序に対応するように記述している。

誤答

※問い二のメモ選択が誤答の場合。

※選んだメモの中で、紹介文の内容に全く触れられていないメモがある。

※メモを正しく読み取ったとは思われないような記述の場合。

※《組み立て表》の順に書かれていない場合。

無答

※一つもメモの内容に触れずに記述している。

【解答例】

A おいしいせんべいをつくるためのくふう

わたしは、せんべい工場でおいしいせんべいを作るためのくふうを調べました。

一つ目は、おいしい米をえらぶことです。全国のおいしい米や、農家にさいばいしてもらった、せんべい用のとくべつな米を使っています。

二つ目は、おいしくするための研究をすることです。せんべいがおいしくなるための材料を研究し、さまざまな味のせんべいを、ためしに作っています。

このように、せんべい工場ではおいしいせんべいをつくるために、いろいろくふうをしています。

B できたてのせんべいをとどけるためのくふう

わたしは、せんべい工場で、できたてのせんべいをとどけるためのくふうを調べました。

一つ目は、せんべいをすぐにつみこむことです。工場のわきにトラックを着け、箱詰めされた、できたてのせんべいを、すぐにつみこみます。

二つ目は、せんべいを運びやすい場所に工場をすることです。できたてのせんべいを、トラックや鉄道で早く運ぶために、広い道路や駅のそばに工場を作っています。

このように、せんべい工場ではできたてのせんべいをとどけるために、いろいろなくふうをしています。

《組み立て表》のメモの順番によっては、解答例の「一つ目は〜」「二つ目は〜」の記述が逆になる。